

はじめに

令和元年度から続く新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの社会生活は大きな影響を受け、学校教育活動においても様々な制限を余儀なくされました。しかしながら、本市においては、「子どもたちの学びを止めない」をキーワードに、感染症対策を講じた授業や学校行事の工夫、オンライン学習の導入など、実施可能な様々な方法を模索しながら、子どもたちの学びの保障に努めてまいりました。このようなかつてない状況の中、誰もが「学校は子どもたちの学びや成長にとって、なくてはならない場所である」ことを痛感し、学校教育の大切さを改めて捉え直す機会となったことと思います。

また、少子化の進展による人口減少社会や超スマート社会（Society5.0）の到来、持続可能な社会を実現するための開発目標（SDGs）に対する取組等といった社会情勢の急速な変化による新たな課題への対応が必要とされるなど、教育を取り巻く状況は大きく変容してきています。

こうした先行きが不透明な将来を見通しにくい時代であるからこそ、「夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども」を育成するという学校教育の役割が重要になってきています。

本ビジョンでは、コロナ禍における学校運営から学んだことを基に、新しい生活様式を踏まえた学校のニューノーマルを構築するとともに、子どもたちにとって学校が「誰にとっても安全に安心して過ごせる居場所であること」「居心地のよい場所」となるよう子どもたちの学力や育ちを見取り、誰一人取り残すことのない教育環境の構築に努めていきます。

また、個別最適な学びと協働的な学びの実現への取り組みを進め、各教科等における資質・能力を育むことをとおして、子どもたちが夢と志を持ち、その実現に向けて行動するための「生きる力」「共に生きる力」の育成を目指します。

このビジョンに掲げた各施策を展開することで、全てのよっかいちの子どもの可能性を最大限引き出すことができるよう努めてまいりますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

四日市市教育長 廣瀬 琢也